



横浜市中心図書館第 35 回ヨコハマライブラリーカフェ

横浜は フルーツ王国 だった？

～近代横浜のくだもの生産～

明治時代から昭和戦前期において、神奈川県内では果物が盛んに生産されていました。
今回は綱島地区で生産されていた「綱島桃」の生産を中心に、横浜とフルーツの関わりを紹介します。

平成 27 年 **2 月 21 日** (土) 午後 2 時～午後 4 時
(開場：午後 1 時 30 分)

場所：横浜市中心図書館 5 階第一会議室 *職員通用口から入場

定員：40 名 (申込先着順)

ゲスト：^{ももせとしお}百瀬敏夫氏 (横浜市史資料室調査研究員)

共催：総務局横浜市史資料室

ヨコハマ 3 R 夢！
マイカップをご持参ください。



参加方法

平成 27 年 2 月 3 日 (火) 午前 9 時 30 分から受付開始

- 1 電話 (045-262-7336)
- 2 Eメール (ky-libevent@city.yokohama.jp)
- 3 中央図書館 3 階カウンター

*申込時に「講座名、氏名、電話番号」をお知らせください。

申込時にご記入いただいた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、申込受付及び講座の中止等、連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

Mitra Tea

人と人をつなぐ

オーガニックでフェアトレード

(株)リタトレーディング
商品のお問合せ先
横浜磯子区汐見台1丁目6-1 210号
TEL045-750-5781 URLwww.mitraatea.com

ミトラティー

ミラノ紅茶局製

CEYLON TEA

平成 26 年度ヨコハマライブラリーカフェ協賛 (サポート) 企業：紅茶等をご提供いただいています。

ゲスト紹介

ゲスト／百瀬敏夫氏（横浜市史資料室調査研究員）

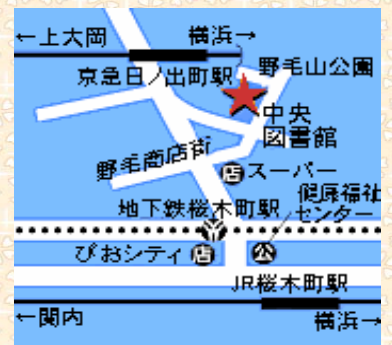
横浜市史資料室にて横浜の歴史について研究を行う。また、大学や市内各地の講座等でも講師を務める。今年度は展示会「横浜市広報ポスターにみる昭和40年代」の企画を担当、同時開催の上映会「ニュース映画にみる昭和40年代の横浜―神奈川ニュースから」の解説も行った。

【著作・論文】

『横浜近郊の近代史 橋樹郡にみる都市化・工業化』 日本経済評論社 2002
「大正期横浜における青果市場の統合と生産者」（『市史研究よこはま』）など
『市史研究よこはま』『市史通信』『横浜市史資料室紀要』にて執筆多数。

横浜市中心図書館へのアクセス

所在地	西区老松町1
交通機関	JR・市営地下鉄桜木町駅から徒歩10分 京急線日ノ出町駅から徒歩5分
開館時間	火曜日～金曜日 午前9時30分～午後8時30分 土・日・月・祝休日 午前9時30分～午後5時



「ヨコハマライブラリーカフェ」とは？

最先端で活躍する研究者と「研究は難しそう」、「わからないことを聞いてみたい」と考えている人たちが、気軽に話し合うことのできる場です。毎回、様々な学術分野の最先端で活躍するゲストが、質の高い研究成果をやさしい言葉で解説するとともに、司書が厳選した当館所蔵の豊富な資料を紹介します。

人から学び、自分で学ぶ、知的情報共有の場として、最先端の研究・知識・情報と市民の皆様を結びます。難しいイメージを持つ「研究」の意外な面白さを、ぜひ感じてみてください。



ヨコハマライブラリーカフェの協賛(サポート)企業について

平成26年度「ヨコハマライブラリーカフェ」の協賛(サポート)企業を公募した結果、市内企業株式会社リタトレーディング様から、「横浜入港」の「フェアトレード」紅茶等をご提供いただくことになりました。

【株式会社リタトレーディング事業概要】

高品質な紅茶を中心に、アジア諸国より美味しい有機栽培食品を日本のお客様に届けています。安全とともに環境への配慮を心掛け、持続可能な農業、地域社会の発展を考慮した事業活動を続けています。横浜入港のフェアトレード紅茶で、地域社会の活性化と文化振興に貢献していきたいと考えています。

